

2022年2月10日

関係各位

野村アセットマネジメント株式会社

モーニングスターアワード「ファンド オブ ザ イヤー 2021」 最優秀ファンド賞・優秀ファンド賞を受賞

野村アセットマネジメント株式会社(CEO兼代表取締役社長:小池広靖、以下「当社」)が運用する以下の6ファンドが、モーニングスターアワード「ファンド オブ ザ イヤー 2021」において、最優秀ファンド賞および優秀ファンド賞を受賞しました。



部門	賞	ファンド名
バランス型	最優秀ファンド賞	のむラップ・ファンド(積極型)
国際株式 (グローバル・含む日本)型	最優秀ファンド賞	野村世界業種別投資シリーズ(世界半導体株投資)
国内株式型	優秀ファンド賞	情報エレクトロニクスファンド
オルタナティブ型	優秀ファンド賞	ダブル・ブレイン
ESG型	優秀ファンド賞	グローバルESGバランスファンド(為替ヘッジなし) 年2回決算型 愛称:ブルー・アース
ESG型	優秀ファンド賞	野村環境リーダーズ戦略ファンド Bコース(為替ヘッジなし)

バランス型 部門で最優秀ファンド賞を受賞した「のむラップ・ファンド(積極型)」は、2010年3月の設定から約12年間、投資環境の変化に応じて資産配分の見直しを行なうことで、市場環境の変化を乗り越えてきました。国内株式型 部門で優秀ファンド賞を受賞した「情報エレクトロニクスファンド」は、今回を含めて3年連続の受賞です。このファンドは長期にわたる運用の成果が評価され、他アワードでの受賞実績もあります。ESG型 部門で優秀ファンド賞を受賞した「グローバルESGバランスファンド(為替ヘッジなし)年2回決算型、愛称:ブルー・アース」は、地方創生に向けた寄附スキームである「志」プロ

ジェクトの対象ファンドで、国内のさまざまな地域の投資家から支持を集めています。

当社は今後も、世界のお客様から選ばれる、日本を代表する運用会社になることを目指して、運用成績の向上に努めながら競争力のある商品・サービスを投資家の皆様に提供していきます。

以上

モーニングスターアワード「ファンド オブ ザ イヤー 2021」について

投資信託の評価機関であるモーニングスター※(現:ウエルスアドバイザー株式会社)が、国内の追加型株式投資信託を対象に、リスクやリターンといった定量面での評価を満し、運用スタイルや調査体制等の定性面から、優れた運用実績とマネジメントを持つファンドを選考したアワード(賞)です。

“Fund of the Year 2021(ファンド オブ ザ イヤー 2021)”は2021年の運用成績が総合的に優秀であると判断された投資信託を対象として表彰しています。

Morningstar Award“Fund of the Year 2021”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスター株式会社※(現:ウエルスアドバイザー株式会社)が信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社※(現:ウエルスアドバイザー株式会社)並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。当賞は、国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、各部門において総合的に優秀であるとモーニングスター※(現:ウエルスアドバイザー株式会社)が判断したものです。

※モーニングスター株式会社は2023年3月30日付で、SBI グローバルアセットマネジメント株式会社に社名を変更いたしました。現在、投資情報サービスおよび投信評価事業は同社の子会社であるウエルスアドバイザー株式会社で行っております。

<野村アセットマネジメントからのお知らせ>

■投資信託に係るリスク・費用

【ご注意】

下記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、野村アセットマネジメントが運用するすべての公募投資信託のうち、投資家の皆様にご負担いただく、それぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をご覧ください。

【投資信託に係るリスクについて】

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価格が変動します。したがって投資家の皆様のご投資された金額を下回り損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

【投資信託に係る費用について】

以下の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

2022年2月現在

ご購入時手数料 《上限3.85% (税込み)》	投資家が投資信託のご購入のお申込みをする際に負担する費用です。販売会社が販売に係る費用として受け取ります。手数料率等については、投資信託の販売会社に確認する必要があります。 投資信託によっては、換金時(および償還時)に「ご換金時手数料」等がかかる場合もあります。
運用管理費用(信託報酬) 《上限2.222% (税込み)》	投資家はその投資信託を保有する期間に応じてかかる費用です。委託会社は運用に対する報酬として、受託会社は信託財産の保管・管理の費用として、販売会社は収益分配金や償還金の取扱事務費用や運用報告書の発送費用等として、それぞれ按分して受け取ります。 ※ 一部のファンドについては、運用実績に応じて報酬が別途かかる場合があります。 ※ ファンド・オブ・ファンズの場合は、一部を除き、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。
信託財産留保額 《上限0.5%》	投資家が投資信託をご換金する際等に負担します。投資家の換金等によって信託財産内で発生するコストをその投資家自身が負担する趣旨で設けられています。
その他の費用	上記の他に、「組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料」、「ファンドに関する租税」、「監査費用」、「外国での資産の保管等に要する諸費用」等、保有する期間等に応じてご負担いただく費用があります。運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断下さい。

■当資料について

当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。

当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

当資料中の記載事項は、すべて当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。

当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

上記は過去の一定期間の実績が評価されたものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

商 号: 野村アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会/

一般社団法人第二種金融商品取引業協会